



暮らしとお金のアドバイザー

Livelihood ライブリフッドプランニング Planning

Personal life design and financial planning --- for you and your family

〒616-8106 京都府京都市右京区太秦森ヶ西町18-2-406 ライブリフッドプランニング 代表 竹本隆之 <http://www.livelihood.jp>

八百屋で投資信託

何のため？何をかう？

(その1)

投資信託は昔は証券会社でないと買うことが出来ませんでした。今や銀行でも買えます。金融自由化です。このままどんどん自由化が進めばそのうち八百屋で買えるようになるかも知れません。

物が決まってそれを買っていますね。

私もよく飲み友達から「何か良い投資信託ない？」なんて聞かれます。

さてみなさん、投資信託選びはどうやっておられますか？銀行の資産運用窓口に行くこと、みなさん、「何かいいものないですか？」って聞いていらつしゃいます。「アジアのファンドください」とか「中国株のもの」なんて銘柄を指定して買われる方はあまりいません。

「お前それなあ、百貨店の総合窓口で『何かいい服ありませんか』って聞いているのと同じだよ、もうちょっと勉強しろ」

三年で二倍の

ファンド

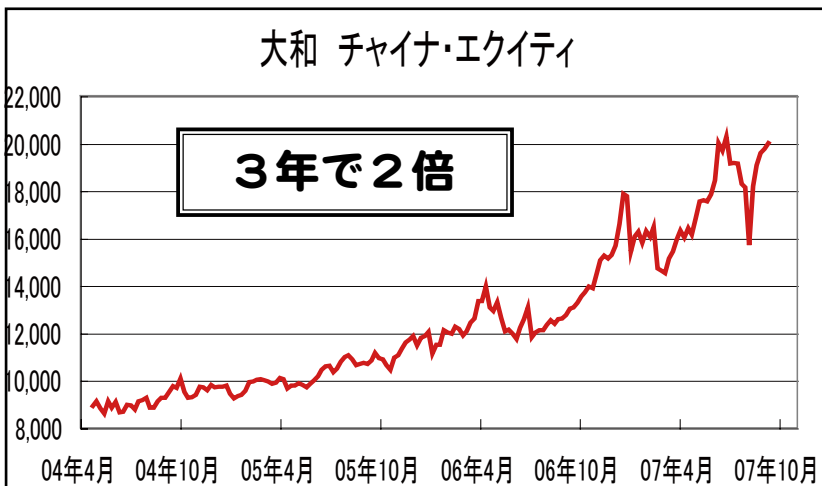
商品選び。毎日買い物する時にいろいろ商品を選んでいると思います。みなさん八百屋で野菜を買う時、どうやっておられますか？

私もいろいろ投信を持っています。成績が悪くて手放そうと考えているものもあれば、そこそこ良い成績のものもあります。

「何かいいものないですか？」なんて言っておられる

「チャイナ・エクイティ」

でしょうか？ 大抵の方は、買



三年間で約二倍になりました。今年に入ってから世界的株安の影響を受けていますがほぼ持ち直しています。ヨーロッパ株も好調です。「大和ユーロファンド」四年で二倍越えています。この他にもブラックロックジャパン(メリルリンチの投信会社)のインド株ファンド「二年経たないうちに」二倍の成績でこれからが楽しみです。

何を選ぶか？

日本の投資信託の数は二千種類を越えています。でも販売窓口に行っても数本の投信しか勧めず、貰えません。数ある商品からほんのわずかなだけ。

投信初めての人にはまず値動きに慣れるという意味でインデックス型の投資信託をまずお奨めしています。これは「指数に連動する投資信託」です。指数というのは例えば、「日経平均」であったり、「TOPIX」であったり、はたまた、円ドルレートであったりいろいろなものがあります。

このような指数は新聞やニュースで毎日報道されますし比較的身近であること。そして、これらの値動きに連動して動くというのは投信初心者にとってわかりやすいと思います。

これで投資信託に慣れれば、次の分散を是非考えてください。

- ・ 日本株式
- ・ 海外株式
- ・ 日本債券
- ・ 海外債券

分散すれば利益が減るからという方もいますが、大損したくないなら分散です。

皆様にお役立て
戴くための宣伝用
情報誌です。

分散にもいろいろ

時間分散、銘柄分散。

リスクを下げるのには大事です。闇雲に銘柄数だけ増やしてもダメです。どういったものに投資しているのかこれを考えなければ、「気が付けば同じような投資ばかり」なんてことになります。これでは分散になりません。目論見書の投資対象は必ずチェックしましょう。

そして時間分散。「これっ!」って思った商品でも、時間をずらして購入する。全額は投資しない。

うまくいかない

思ったように上がってくれないことはよくあります。金融情勢は刻々と変化するからです。

投信を買ったらそのまま、そのまま放ったらかし、こういう人が多いように思います。

「だいたい上がったな」

なんて思っている、またまたずるずると下がっていくことも多いものです。所詮、安くしてお得なものを買って高くなったら売らないと収益はできません。うまくいかなくて、この投

信はダメだねなんて思ったら、少々の損なら勉強代と思ってさっさと解約しちゃう。そんなもって、次の投信に期待を掛ける。

正しい銘柄を正しく買った人にとっては、ある意味「買い時な訳です。」オーバーリスクだった訳です。下がった時のことも考えて余裕資金を残して投資するスタンス、絶対必要です。

余裕資金が百万ある。でこれをすぐに全額使う。こういう人はうまくいかない。

人間の感情というのは不思議なもので、リスクがあると分かっている時は「買いたい」と思っているものなんです。そう言う時に「百万のうち三〇万だけにしておきませんか？」なんて言えるのは、私のような企業に縛られない独立系ファイナンシャルプランナーだけじゃないかと思えます。

ドルコスト法って

ご存じですか?

経済情勢はどうか市況はどうか、知りうる情報を元に、ちょっとずつ分散して投資する。なかなか先読みは難しい。だから

もう考えなくて良い方法。定期的な積立です。毎月一万円なら一万円、一〇万円なら一〇万円を定期的に買っていき、これをドルコスト法と言います。

ドルコスト法
(定期積立の方式)
高値づかみが無くなる
有名な手法

初心者には特にお勧めです。投信歴二〇年の私もいまだにこれで数銘柄を買いつづけていますよ。

私からの

アドバイス

- 一〇年くらい使わない資金、それを五年掛けて時間分散
- 積立貯金のつもりで毎月投信信託に回す。
- 生命保険の見直しで浮いた予算を投資信託にまわす。

●年後には〇%±〇%増えている予定、なんていう目標を立ててライフプランを組みます。

例えば、五年前から投信をはじめ、五年後に家を購入する予定の方がいらしたとして、私が五年前に先の中国ファンドを勧めていたとします、とするとこんな具合になります。

「中国経済は、北京オリンピックがひとつのピークになりますから、これからは5年国債で安心運用の方がいいんじゃないですか」

後半の五年間を安心運用しても三・一倍の結果になります。三年で三倍になったからといってその後もその調子で増えるなんてまずあり得ません。その後と同じように上がりつづけると思つて結局失敗したすることも多い。下がる前に利益確定。

相場ものは上がったりがったり、リスクがありますから、それで「自分の人生プランが崩れては元も子もありません」。

プランがないと引け際が判断出来なくて失敗する。だから投資の前にライフプラン作りです。

大事なことは「資金を殖やすことが目的ではなく、それでどんな人生を描くのか」、これがより豊かな人生を歩むポイントでしょう。それが本当の意味での「自己責任」だと思います。

貴方のライフプランと損をしない
資金計画作り
ご相談は ライフリッドプランニングへ